

春の嵐が吹き荒れていますね。子どもを乗せて自転車をこぐことがキツ〜イと感じてしまうのは、子どもの成長？ それとも体の老朽化？ 新しいクラス・環境に子どもが早く慣れるように僕らも頑張りましょう！

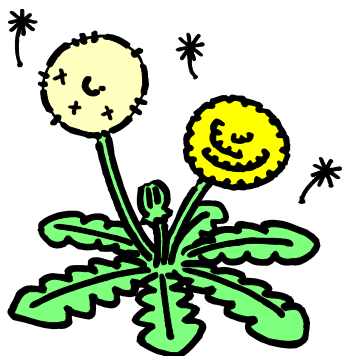
2005年(平成17年度)

市保連ニュース

Vol. 7 2006. 3. 22

<http://hoiku.ram.ne.jp/shihoren/> (非公式サイト)

1. 卒園おめでとうございます。



長い人で6年間の保育園生活はどうだったでしょうか？『子どもと一緒に親も成長できた』そう感じる事が出来たのなら、素晴らしい保育園生活でしたね。

この時季は各園とも謝恩会ですね。『普段から、こんな風に先生と話せていたら良かった。』と思う人もいたのでは？

この先、学校に行っても学童クラブに行っても、教師や指導員と沢山話をしてくださいます。子どもの良いところを遠慮なく伝えて、そして成長を共有してください。あなたの子どもを取り巻く沢山の人といろんなことを共有することで、子どもと一緒にどんどん世界が広がっていくはずですよ。僕ら保護者も、子どもと一緒にずっと成長していきましょう。

2. 市保連行事。大盛況でした!!

3月18日、毎年恒例の市保連行事が行われました。歌からはじまって、マジック&バルーンショーが繰り広げられました。河童や猫や鷺のキャラクターが出て来て、ビックリした子どももいましたが、みんな喜んでいましたね。



チケット枚数の都合で参加できなかった皆さん。申し訳ありませんでした。そして当日最後まで段取りを進めてくれた担当父母会の境・桜堤の皆さん。本当にお疲れ様でした。

3. 定例会から。こんな話題が出ました。

『役員会ってさ…』

- ・集まりが多くて負担が大きい。
- ・行事まで役員会が取り仕切るから大変。
こんな声があるそうです。その反面
- ・行政や制度のこと、色々なことが判ってためになる！
- ・達成感が大きい！ やり甲斐がある!!
という声もあります。

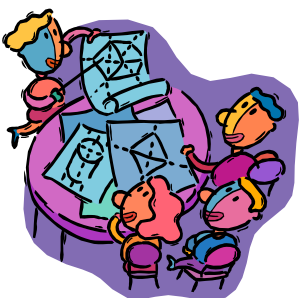


父母会ごとに体制が違うようですが、行事の取り仕切りは実行委員会形式で任せて、役員会はオブザーバー的な役割に徹しているところがあります。皆、お互いに仕事を持っている同士…とは言え、職種によって繁忙期など違いますから、みんなで調整しあえれば、もっと楽しく活動できるかもしれませんね。

4. 公立保育園改革に関して

今、定例会では毎回毎回、公立保育園改革に関してかなりの時間を費やしています。また、各父母会の役員会ごとに市保連役員が出向き、国の制度の話などから始まって改革計画への認識を高める作業が行われています。

3カ年の計画のうち2カ年が過ぎようとしていますが、『やはり改革の主旨がわからない。子どものためなのか？』『職員方の努力は伝わるのだが、正規職員を減らさない方が良かったのでは？』といった声が聞かれます。



そんな中、邑上新市長・筒井子ども家庭部長お二人と市保連役員とで、懇談を持ちました。行政としてはこの間の経過もあり、改革計画は止められない。とのことでした。

『それでは、少しでも子どものための改革計画だと納得できるように。子どものための改革計画になるように保護者の意見・思いも聴いてもらおう』という意見が定例会で出され、定例会担当・市保連役員とで、子ども家庭部長との意見交換会を求める。ということになりました。

改革計画も、18年度が最終年度。子どものための改革計画だったと、心から喜べるように。皆さんも注目してください。